

標準エラーコードについて

データの受信時又は送信時に、データ内に不備があるとエラーとなる場合があります。
その場合は、エラーコードを確認することで、エラーの内容を把握しやすくなります。

- ・ 受信時：受信データ明細にて確認できます。
- ・ 送信時：送信データ明細にて確認できます。

送信データ明細

加入者名: MIND IS テスト発注2
加入者コード: 108400WEBT02

戻る

前頁

次頁

クリア

リセット

登録

更新

削除取消

削除

伝票形式詳細

送信日時	受信者コード	情報区分名称	版	件数	送信 状態	変換 エラー件数	受信確認 日時
2011/04/11 16:32:49	108400WEBT01	変更注文情報	1D	1	エラー	1	

表示件数: 20件 ▼ 変更

1/1ページ (1件)

選択	No	エラー コード	注文番号	注文年月日	注文数量	発注者品名コード	納期1	納入指示数量1	納入No1	購買担当	訂正コード	単価
☐	1	1500082										

エラーコードは、先頭 2 桁が CII に準拠したエラーコードとなっており、以降の数字はエラーとなった項目の EIAJ 項目 No を表しています。
但し、エラーとなった原因は、この項目よりも前に存在している可能性もありますので、内容を確認する目安としてください。

【エラーコード表】

コード値	エラー内容
00	エラーなし。
01	取決め以外の情報区分コード（トランスレータの構造によっては、使用されない）。
02	メッセージグループ見出しが見つからない。
03	メッセージグループ後書きが見つからない。
04	構文規則識別版数の不正。
05	分割区分の不正順序。
10	未定義制御タの検出。
11	不正データタの検出。
12	マルチ明細見出しが実行形式変換テーブルにない。
13	マルチ明細後書きが実行形式変換テーブルにない。
14	固有側（標準側）繰り返しが標準側（固有側）繰り返しを超えた。
15	データ長が最大値を超えた。
16	エラー検出用データの値が数値でない。
17	数値変換のデータ要素の値が数値でない。
18	標準側データ長が固有側データ長より大きい。
19	レポート区分が X' 44' でない（メッセージが見つからない）。
20	過大メッセージ長。
21	TFD 領域終端子（X' FE'）がない。
22	負のデータ有り（9 型データの時など）。
30	順序番号が昇順ではない。
31	エラー検出用データによる検査で、エラー検出。
32	実行形式変換テーブル読み込み不能。
33	不正文字コードの検出。
36	Y 型データ要素（日付）の値の不正。
81	交換エラー。
82	同報エラー。
99	その他エラー。